学期68日が終わる

へ好きな夏休み~

ら各学年とも落ち着いた雰囲気で始 が終わります。今年度は4月当初か 新しい年号を迎えた一学期68日間

業を迎えることができました。

だいぶ上手になりました。 った1年生も、お勉強や給食・清掃も 4月から初めての小学校生活が始ま

年も夏休みまでの短い期間ではありま したがみんなの仲間として辺士名小学 2年生では6月からダニエル君が今

を受け入れ、支え合う2年生の教室の 校での学校生活をエンジョイしました。 何よりも私が感心したのはダニエル君

仲間たちの姿でした。ダニエル君の存 在は子どもたちにとっての教育的価値 を無性に高めてくれました。 さて、いよいよ夏休みがやってくる。

ねる親の姿が目に浮かぶ。しかし、それは当たり前 有意義な夏休みをお過ごしください。 とは子どもの権利であることを理解したい。家族で の親のあるべき姿である。親にかまってもらえるこ 子どもの期待感を裏切らないために必死に徒労を重 たちの期待を高めていることと察するところである。 各家庭で様々な家族のイベントが企画され、子ども 番大変なのは親であることは明白な事実である。

開かれた学校」から 開かれた教育課程

る学校評価などに取り組み、学校を内から公表して 学校評議委員や学校関係者評価委員など保護者によ いくようになった経緯がある。 があった。それを受け各学校ではHPを開設したり、 校の様子や事情を外へ発信すべきである。」との提言 いう社会的な指摘を受け、「学校はもっと積極的に学 数年前、「学校は内に閉ざされ閉鎖的である。」と

る学校経営を目指すというものである。 者や地域の人材を積極的に活用し、みんなが参画す ではなく日常の教育課程 う言葉が提案された。さて、…その違いは?・・・ あれから数年、今度は「開かれた教育課程」とい わかりやすい話が、 学校の評価、 (授業や学校行事)に保護 情報の発信だけ



ー のみなさの力で成り立っ っぱクラブ・囲碁将棋 ラブ・空手クラブなど します。 辺土名小のクラブ活動は地域のみないます。三線クラブ・しまくとぅば ラブ・生け花クラブ。大正琴クラブ 域の皆さんの参画へ心より感謝しま









の使い方を学ん タブレットで写 だ。下の写真は されて機能やそ タブレットが渡

紹介(抜粋)させていただきます。 真を撮っているところである。 さいしょはむつかしかったけど、 授業終了後の2年生の日記を 今日、タブレットをしました。 「タブレット」



(写真は上段からの続き)





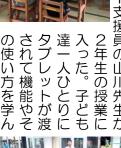




た教育課程」は確実に具現化されていると考える。 を運び、「地域から学ぶ・地域を学ぶ」を子ども達と 一緒に実践を積み重ねてきた。辺土名小の「開かれ 日常授業の中でも、先生方は、積極的に地域に足

CT支援員から学ぶ

ICT支援員の山川先生が 村教育委員会から派遣さ







湧川松明